

2020年度秋学期 課題挑戦型インターンシップ 機関報告会

東北公益文科大学 チーム12

佐々木壺晟 小川瑠那

高橋歩 小野夢姫

長谷山大也

目次

1. 課題
2. 鶴岡市小堅地区について
3. 課題に対する解決案
 - ① 公設民営型のミニスーパー
 - ② イベント会場
4. まとめ
5. 参考文献

1. 課題

旧小学校の「廃校利活用アイデア」を提案する

⇒ 2階の教室2部屋と和室1部屋の活用方法を提案



2. 鶴岡市小堅地区

○現状

- 堅苔沢自治会と小波渡自治会との自治振興会
- 住民は243世帯698人（2020年10月末時点）
- 高齢化率は45%
- 喫茶店1店舗、移動販売あり

3. 課題に対する解決案

- ① 公設民営型のミニスーパー
- ② イベント会場



○ 2つの解決案の目的

- 生活基盤となる場所をつくる
- 買い物弱者を支援する
- 憩いの場をつくる

①—1 公設民営型のミニスーパー

■ 公設民営

⇒ 指定管理者制度や民営化とは異なる

公共団体等が施設を設置し、運営を民間の企業や団体が行う

○民間運営体制づくりのポイント

- 企業や行政等の他の組織と連携すること
- 有志による組織があること

⇒自治体から他の組織に働きかけることから始まる

- 地域住民の参加を促すこと



○初期費用

①削減できる初期費用

- 物件取得費 300~1,000万円
- 内装・外装工事費 100~1,500万円

②想定される初期費用

- **設備設置費 100~300万円**

内訳：空調設備、陳列棚、冷凍冷蔵ショーケース、レジ

- **仕入れ費 50~300万円**



○期待される成果

- 「地域に暮らしやすくする活動」の拠点
- 地域の商品（農産物・手工芸品）の販売
- 理想的な買い物の場の提供

○参考事例

■「南外さいかい市」

(秋田県大仙市南外地域)

⇒ 2013年にスーパーが廃業、
買い物への不安

市の事業を活用し、店舗開設



< 概要 >



- 営業日時：毎週木曜日から月曜日
(火・水曜日は定休日)
10:00～18:00
- 取扱商品：食料品、雑貨、産直野菜、惣菜
- 運営：南外さいかい市運営協議会
- 仕入先：コープあきた、地元農家、地域住民





○小堅地区ミニスーパーの概要

- 店舗場所：旧小堅小学校
- 営業日時：週2日定休日 11:00~19:00
- 取扱商品：食料品、雑貨、産直野菜、惣菜

- 
- 
- **運営：小堅地区自治振興会**
 - **給料：ポイント制**
 - **仕入先：地元スーパー、地元農家、地域住民**
 - **その他：連絡をすると商品の配達も可**

①ー2 休憩所

■ 和室を休憩所として活用



⇒話をしたり、購入したものを食べたり、
イベント会場をのぞいたりして交流を深めることができる

② イベント会場

- 無人写真展

⇒いつでも誰でも小堅地区を知ることができるスペース

- 学習スペースとしての開放



○特別イベント

⇒月に2回のペースでイベントを開催

■年間行事

e.g. 恵方巻づくり、流しそうめん、ハロウィンパーティ
クリスマスパーティ、餅つき

■ 教室

e.g. 職業紹介（子どもたち向け）、工作教室・実験教室

小堅の良いところマップ作成

先輩に学ぶ会（小学生から大学生に学校生活に関する質問）

防災（避難所マップの作成、非常食の試食会）

海ごみ問題、SDGs、「理想の町」を描く

4. まとめ

○小堅地区だからこそ期待できること

- コストの削減

⇒スーパーを新しく建設する必要がない

- 2つの教室間での連携

⇒買い物ついでにコミュニケーションができる

■ 学生の協力

⇒小学生・中学生のプチ職業体験

大学生はサークルを立ち上げ、スタッフとして参加

地域で不足している
若者の人材を確保

大学で学んだ知識や情報、
ノウハウを活かせる

大学生の参加

学生の人材育成、実践の場が
得られる

教育・研究活動への
フィードバック

5. 参考文献

[1]朝日新聞.「秋田）買い物不安解消 公設民営スーパーがオープンへ」.

<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20191001001058.html> , (参照2021-03-08)

[2]日本食農連携機構・流通経済研究所.「地域の買物支援対策モデル」.

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/pdf/kaimono_sien.pdf , (参照2021-03-08)

[3]淡川雄太.「公設民営スーパーマーケット設置減少と持続可能性モデル化」.『都市経営研究e』.2020,Vol.15,No.1,p.91-112

[4]広島大学.「大学が地域と連携する意義、地域が大学と連携する意義」.

<https://hirodaicoc.hiroshima-u.ac.jp/chiikitaisaku/wp/wp-content/uploads/3e6edeb1fa80883f6de59cdc04b48f1a.pdf> , (参照2021-03-08)

[5]北海道滝上町.「まちなか活性化の拠点として期待！～公設民営スーパーオープン～」.

<https://town.takinoue.hokkaido.jp/photo/detail/516.html> , (2021-03-08)